



この地球上で、この場所で
こうして出会えた奇跡に感謝
こうしてかかわり合うことが
できる縁を大事にしましょう

平戸市立大島中学校
令和元年度学校だよりNo.18
令和元年12月10日
文責 校長 吉尾直樹

大島中学校をこんな学校にしたいという熱い思いで

12月9日 生徒会役員選挙



早いもので12月になり、今年もあとわずか。2学期を振り返り、締めくくる時期となりました。この2学期はあなたにとって充実した学期になりましたか。

いよいよ学校は1・2年生が引っ張る時期となり、生徒会役員選挙が行われました。それぞれが生徒会役員としてこういうことに取り組みたいという思いを訴え、会長に2年生の村井陽郁さん、副会長に山川愛美さん、書記に白石翼君、庶務に1年生の阿立桃さんが選ばれました。村井さんが掲げた「自分の力を磨ける学校」からは、より高きを目指す前向きな気持ちが伝わってきます。山川さんの「ありのままの自分を出すことができる学校」、白石君の「みんなが自分の思いを伝えられる学校」は、しっかりとコミュニケーションをとって、互いの思いをくみ取ることに努力しようとする中で、阿立さんの「お互いを認め合い、ともに成長できる学校」にもつながると思います。生徒会活動は一人ひとりの言葉と意欲で成り立ちます。民主政治が少数意見を尊重するのは、一人の意見も大切にしながらよりよい方策を求めるからです。ぜひ、この公約を胸に、新しい大島中学校の一步を進めていきましょう。



子どもの心と体の健やかな成長を考える

11月21日 大島小学校・大島中学校 学校保健委員会講演会

大島村公民館で、大島小学校・大島中学校の学校保健委員会講演会を行いました。昨年までも講演会は合同で行ってきましたが、今年度からはコミュニティ・スクールの一環として、目標や課題の共有化を進めながら、大島っ子の健やかな成長をともに考えるようにしています。今回は、「チーム大島で考える家庭教育」をテーマに、長崎県メディア安全指導員の長崎屋容子先生をお招きして、講演をしていただき、グループワークで意見を出し合いました。ゲームやスマホに起因する問題、SNSでのトラブルは増加傾向にあります。学校ではさまざまな場面で子どもたちによりよい方法を考えさせていきますので、ご家庭でも繰り返し話をしながらルール等について確認ください。ネット依存とゲーム依存は病気の一つであるということを改めて考えさせられた講演会でした。

少人数のよさを生かした取り組み

「主体的・対話的で深い学び」は令和3年度に完全実施となる学習指導要領のキーワードです。本校では、少人数のよさを生かし、授業での対話活動や一人ひとりが主体的に活動できる場面を設定した授業改善に取り組んでいます。



例えば、人権学習集会でもLGBTを題材に人権問題を考えるなど、授業だけではなくさまざまな活動で、多くの意見を引き出すようにしています。自らが意見を出しながら主体的に課題の解決に向かうことは、これからの時代を生き抜くうえで重要だからです。分かっている、伝わっているだけではなく、互いの考えや思いをきちんと伝え合うことで、新しい考えに気づく、生み出すことができるのです。

